

日本アジア投資株式会社 2022年3月期 第1四半期 決算補足資料

決算発表日：2021年8月13日

(ご注意) 本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

1. 総括	P3
2. 当四半期の実績（前年同期比較）	P4
3. 業績予想	P9
4. 営業活動の状況	P12
5. 参考情報	P21

（ご注意）本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

✓ 当四半期の実績（前年同期比較）

- 営業収益168百万円（△40.1%）、最終赤字△287百万円（46百万円赤字拡大）
- 売電収入や他社ファンドからの利益が減少し、減収
- 株式売却益の減少や運営プロジェクトの利益減少により赤字幅拡大

✓ 業績予想

- 通期の業績予想に変更なし、実績は巡航速度
- 売却益が第4四半期に集中する見込みのため、第3四半期までは赤字の見込み

✓ 営業活動の状況

経営理念に基づきSDGsを強く意識した投資活動を徹底する

- 三重県津市のメガソーラー発電所が稼働
- 兵庫県丹波篠山市で植物工場の増設に着手
- 埼玉県狭山市のディストリビューションセンタープロジェクトに投資実行
- 栃木県宇都宮市の障がい者グループホームが完成
- 投資先企業の事業進捗：リニューアブル・ジャパン、スマートソーラー、
ワンダープラネット、HiTTO、iHeart Japan、ティムス
- 当社設立40周年を記念して「金融機関.YOM」40号が当社特集号として発刊

2. 当四半期の実績（前年同期比較）



ハイライト P5

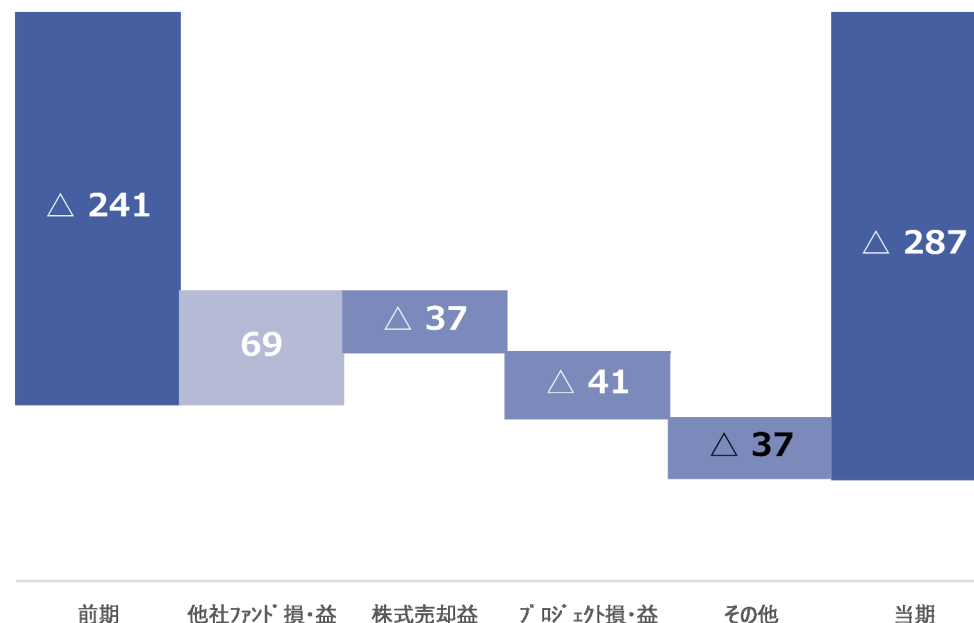
営業収益・営業原価内訳 P8

2. 当四半期の実績-ハイライト P/L



(単位：百万円)	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	
	実績	実績	
	金額	金額	増減率
営業収益	282	↓ 168	△40.1%
営業原価	270	165	△38.9%
営業総利益	11	3	△70.1%
販管費	257	273	6.3%
営業利益	△246	△270	-
経常利益	△246	△286	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△241	↓ △287	-

親会社株主に帰属する当期純利益の増減要因



✓ 減収要因：

- ・ 前期に一部の売電中メガソーラープロジェクトを売却したため、売電収入が減少
- ・ 他社ファンドからの利益が減少

✓ 赤字幅拡大要因：

- ・ 売却益よりも資金回収を優先して流動化した未上場株があったため、株式売却益が減少
- ・ 前期のメガソーラープロジェクト売却に伴い、プロジェクトからの利益が減少

2. 当四半期の実績-ハイライト B/S



(単位：百万円)	2021/3期末	2022/3期(1Q)末		
	金額	金額	増減率	主な増減要因 (単位：億円)
総資産	14,657	13,900	△5.2%	
うち 現預金	3,699	2,781	△24.8%	返済△5、投融資△4、費用等△3、回収+2
うち プロジェクト投資 (営業投資有価証券・貸付金)	5,583	↑5,646	1.1%	投融資実行+1
うち 戦略投資 (営業投資有価証券)	1,155	↑1,355	17.3%	投資実行+2
うち フィナンシャル投資 (営業投資有価証券(引当後))	3,111	↓3,047	△2.1%	分配・売却△1
借入金	6,950	↓6,442	△7.3%	返済△5
自己資本	7,338	6,998	△4.6%	利益△2.8、含み損益△0.5

- ✓ フィナンシャル投資からプロジェクト投資・戦略投資への資産の入替が進行中
- ✓ 将来の成長に向けた投資資金を確保した上で借入金を返済し、残高を着実に圧縮

2. 当四半期の実績-ハイライト C/F



(単位：百万円)	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q
営業活動によるCF	28	↓ △533
投資活動によるCF	39	△0
財務活動によるCF	△513	△507
CF増減額	△449	△1,024
期末残高	2,274	2,276

✓ 営業CF：投資の回収が減少した一方で投資実行が進捗したため、マイナスに転じた

2. 当四半期の実績－営業収益・営業原価 内訳



(単位：百万円)	合計		プライベートエクイティ投資		プロジェクト投資	
	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q
営業収益	282	168	200	↓ 150	81	↓ 18
管理運営報酬等	45	41	43	39	1	1
営業投資有価証券売却高	73	104	73	104	0	-
組合持分利益・イカゲイ等	150	9	79	↓ 3	71	↓ 6
その他営業収益	12	12	3	2	8	9
営業原価	270	165	227	145	43	20
営業投資有価証券売却原価	19	88	19	↑ 88	0	-
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	0	28	0	28	-	-
組合持分損失等	249	46	206	↓ 27	43	↓ 18
その他営業原価	1	2	1	1	-	1
営業総利益	11	3	△27	↑ 5	38	↓ △2

- ✓ プライベートエクイティ投資：減収・黒字回復
 - ・ 営業収益（組合持分利益）：他社の運営するファンドからの利益が減少
 - ・ 営業原価（売却原価）：売却益よりも資金回収を優先して未上場株を流動化したため増加
（組合持分損失等）：他社の運営するファンドからの損失が減少
- ✓ プロジェクト投資：減収・赤字
 - ・ 営業収益（組合持分利益）：前期に売電中のプロジェクトの一部を売却したため減少
 - ・ 営業原価（組合持分損失等）：植物工場の先行費用が減少

業績見込値の詳細 P10

将来に関する記述等についてのご注意 P11

3. 業績予想－業績見込値の詳細



単位：百万円	2022/3(1Q) 実績	上期見込 (期初発表値)	通期見込 (期初発表数値)	
	金額	金額	金額	進捗率
営業収益	168	700	2,950	5.7%
営業原価	165	360	1,320	12.5%
営業総利益	3	340	1,630	0.2%
販管費	273	560	1,120	24.4%
営業利益	△270	△220	510	-
経常利益	△286	△250	430	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△287	△250	340	-

- ✓ 業績見込みの修正なし、第1四半期の実績は巡航速度
- ✓ 第4四半期に売却益が集中する見込みのため、上期・第3四半期累計は赤字の見込み
- ✓ 株式の売却は、国内IPOと中国で未上場株式のトレードセールを見込む
- ✓ 安定的な収益の源泉を、売電収益から短期売却目的のプロジェクト売却益へ変更
第4四半期に、メガソーラー、ディストリビューションセンター、その他、合計4件のプロジェクト売却益を見込む

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

プロジェクト投資	P13
プライベートエクイティ投資	P17
当社40周年記念「金融機関.YOM」40号	P20

4. 営業活動の状況 – 三重県津市で太陽光発電所が稼働（2021年5月）



津太陽光発電所



発電所概要	
所在地	三重県津市
最大出力規模*	21.82MW
年間予想発電量	27,160MWh
FIT単価	24円/kWh

*太陽光パネル設置ベース
**4,825kWh/年にて換算

- 一般家庭の年間消費電力量約5,600世帯分(**)の年間予想発電量を誇る大規模発電所
- PHOTON JAPAN合同会社をはじめとするPHOTONグループが開発し、当社を含め複数の投資家が投資をしているプロジェクト



リーフレタスを栽培する 丹波篠山工場を隣接地に増設



パートナー企業
株式会社
森久エンジニア
リング



第1工場外観



第1工場（既設部分）概要	
所在地	兵庫県丹波篠山市
工場形態	完全閉鎖型植物工場
栽培品目	リーフレタス
年間生産量	約200トン

第2工場（増設部分）概要	
稼働時期	2021年12月 本格稼働予定
工場形態	完全閉鎖型植物工場
栽培品目	リーフレタス
年間生産量	約470トン（既設部分との合計量）



KIC狭山日高ディストリビューションセンター



パートナー企業
KICホールディングス
株式会社

完成予想図



所在地	埼玉県狭山市
アクセス	圏央自動車道「狭山日高IC」より約500m、 西武新宿線「狭山市駅」より約4.8km
物件概要 (予定)	延床面積約15,123m ² 、 地上4階建
竣工予定	未定

4. 営業活動の状況－障がい者グループホームの新規案件完成



11 住み続けられる
まちづくりを



ソーシャルインクルーホーム宇都宮宝木町



パートナー企業
ソーシャルインクルー
株式会社



所在地	栃木県宇都宮市
部屋数	入居者用20部屋 短期入所用2部屋
グループ ホーム種類	日中サービス支援型
営業開始	2021年9月（予定）



リニューアブル・ジャパンが 東京ガスと非FIT太陽光発電 所の電力購入契約を締結



- 2021年2月、リニューアブル・ジャパン(株)は、東京ガス(株)と、再生可能エネルギー固定価格買取制度 (FIT) に依存しない再生可能エネルギー電源の普及・拡大に向けた、非FIT 太陽光発電所の電力購入契約を締結
- (株)エコスタイルが今後開発する小規模太陽光発電所をリニューアブル・ジャパン(株)が取得し、発電した電力・環境価値を20年間にわたり固定価格で東京ガス(株)が購入する

会社名	リニューアブル・ジャパン株式会社
代表者	代表取締役社長 眞邊 勝仁
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーにつき、案件の発掘・開発から、開発資金の調達、EPC事業、売電開始後の事業管理までを手掛ける グループで東京証券取引所に上場する「日本再生可能エネルギーインフラ投資法人」を運営
設立	2012年1月
URL	https://www.rn-j.com/

スマートソーラーの家庭用蓄電池が、 株式会社LIXILの新品として採用



スマートソーラー(株)の家庭用蓄電池「スマート蓄電システム」が、(株)LIXILの新品として採用され、蓄電池設置等を展開する新サービス「建て得でんち」として2021年4月1日に発売

会社名	スマートソーラー株式会社
代表者	代表取締役社長 手塚 博文
特徴	<p>「スマート蓄電システム」の特長</p> <p>高性能：・11.5kWhの大容量蓄電池 ・業界トップクラスの電力変換効率は97% ・全負荷型&200V対応で停電時でも安心</p> <p>高品質：・15年以上の耐久性 ・製品保証15年&自然災害補償10年で安心 ・24時間365日遠隔監視&故障時の駆け付け全国対応</p> <p>低価格：1kWhあたり約8.7万円と業界平均単価の約1/3以下</p>
設立	2007年4月
URL	https://www.smartsolar.co.jp/



ワンダープラネットが 東証マザーズに新規上場



楽しいね!を、
世界中の
日常へ。

会社名	ワンダープラネット株式会社
代表者	代表取締役社長CEO 常川 友樹
事業内容	スマートフォンを中心としたスマートデバイス向けアプリ・ゲームの企画、開発、運営、販売 【主なタイトル】 - ジャンプチヒーローズ - クラッシュフィーバー - Fantastic Days (為美好的世界献上祝福!) - DecoLu (デコル)
本社所在地	名古屋市中区錦3-23-18
上場日	2021年6月10日
上場市場	東京証券取引所マザーズ

社内利用特化のAIチャットボット HiTTOの利用者数30万人突破



会社名	HiTTO株式会社
代表者	五十嵐智博、木村彰人
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 社内向けAIチャットボット「HiTTO (ヒット)」の開発・提供 2021年7月7日より、シェア1位のノウハウや統計データを元に、業界初の人事/労務/総務領域の情報を体系化した独自AIを搭載し、HRチャットボットとしてリニューアル
設立	2006年3月
URL	https://www.hitto.co.jp/

4. 営業活動の状況 – 投資先企業の事業進捗 – バイオ関連



iHeart Japan が シリーズCで約8億円を調達



- iPS 細胞から分化させた心臓や血管などの細胞から成る多層体「IHJ-301」を用いて、拡張型心筋症や虚血性心筋症による重症心不全の治療向けの、再生医療等製品を開発中
- 京都大学、東京大学などと連携して非臨床試験を実施
京都大学が計画している IHJ-301 を用いた臨床研究は、2020年4月に京都大学の特定認定再生医療等委員会の承認を獲得
- 2021年7月、シリーズCで約8億円の資金を調達、IHJ-301の実用化に向けた臨床研究や治験などを進める計画

会社名	iHeart Japan 株式会社
代表者	代表取締役 角田健治
特徴	iPS 細胞から心筋細胞や血管内皮細胞などに分化させる分化制御技術、ハイドロゲル粒子を応用して細胞が壊死することなく多層構造を持たせることができる細胞積層技術につき、主要国で特許を保有
設立	2013年4月
URL	http://www.iheartjapan.jp/



ティムスが米Biogen社に対するパイプライン導出により約20億円の一時金を獲得

- 同社が開発を進める急性期虚血性脳卒中の治療薬候補「TMS-007」は、発症後の投与可能時間枠を、既存の治療薬が発症後4.5時間以内であるのに対し12時間以内まで延ばすことができるかと期待されている。
- 2021年5月、同社が日本国内で実施した前期第2相臨床試験の結果を評価した共同研究先の米国Biogen社がオプション権を行使し、TMS-007とバックアップ化合物の全世界における独占的な開発権と販売権を取得した。
- 今回の導出により、同社はBiogen社から1800万ドル（約20億円）の一時金を受領する他、今後の開発状況と製品化に伴うマイルストーンとして最大3億3500万ドル、また、全世界における毎年の純売上高の1桁台後半から10%台前半の段階的ロイヤルティーを獲得できる権利を確保した。

会社名	株式会社ティムス
代表者	代表取締役社長 若林拓朗
特徴	東京農工大学発酵学研究室（蓮見恵司教授）の医薬シーズを実用化する目的で設立、血栓溶解効果と抗炎症効果を併せ持つ低分子化合物群SMTP（Stachybotrys microspora triprenyl phenols）を用いた医薬品等の研究開発を行う
設立	2005年2月
URL	http://www.tms-japan.co.jp/



当社は2021年7月に設立40周年を迎えました。ひとえに皆様方のご支援ゆえと深謝致します。

私共と長年おつきあいのあるリッキービジネスソリューション株式会社より、これに因み、当社の記念特集号として、同社の機関紙「金融機関.YOM」40号を発刊していただきました。

当社のSDGs投資の取り組みを、事例を交えてご紹介しています。ぜひご覧ください。

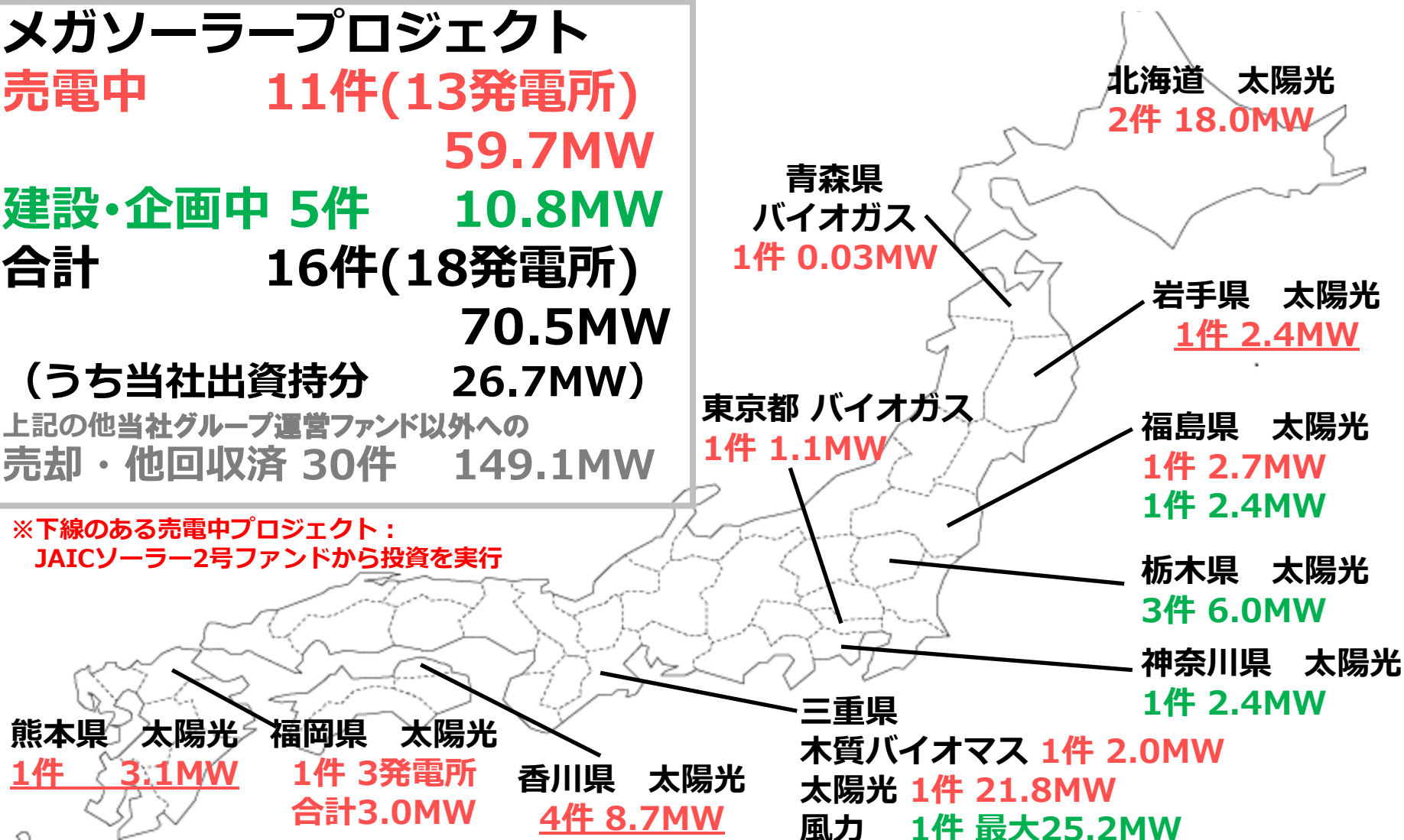
<http://www.ginkouin.com/>

再生可能エネルギープロジェクト一覧	P22
プロジェクト投資 案件一覧	P23
戦略投資先企業一覧	P25
アジアネットワーク	P26
主要データの推移	P27
営業収益・営業原価 内訳	P29
投資領域	P30
JAICの強み	P31
収益構造	P32
SDGsへの取り組み	P34
会社概要	P35

メガソーラープロジェクト

売電中	11件(13発電所)	59.7MW
建設・企画	5件	10.8MW
合計	16件(18発電所)	70.5MW
(うち当社出資持分)		26.7MW
上記の他当社グループ運営ファンド以外への 売却・他回収済	30件	149.1MW

※下線のある売電中プロジェクト：
JAICソーラー2号ファンドから投資を実行



※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

プロジェクト投資 案件一覧-1 (2021年6月末)



プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)
メガソーラー発電	1	熊本県球磨郡錦町 (※)	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40
	2	野間池ソーラー発電所 (※)	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36
	3	御田神辺池ソーラー発電所 (※)	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32
	4	岩手一関ソーラーパーク (※)	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36
	5	中王田池ソーラー発電所 (※)	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36
	6	東王田池ソーラー発電所 (※)	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36
	7	北海道紋別市弘道太陽光発電所	15.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40
	8	津太陽光発電所	21.8	売電中 (2021年5月売電開始)	24
	9	福島県	2.4	建設・企画中	32
	10	広野ソーラーパーク	2.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40
	11	厚岸ルークシュポール太陽光発電所	2.3	売電中 (2020年5月売電開始)	40
	12	神奈川県	2.4	建設・企画中	32
	13	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中 (2020年3月~5月売電開始)	36
	14	栃木県	2.0	建設・企画中	36
	15	栃木県	2.0	建設・企画中	32
	16	栃木県	2.0	建設・企画中	32
合計 70.5MW (うち当社出資持分 26.7MW)					

※：JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。

プロジェクト投資 案件一覧-2 (2021年6月末)



プロジェクト種類		所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)
木質バイオマス発電		三重県松阪市	2.0	売電中 (2018年1月売電開始)	-
バイオガス発電	1	東京都羽村市	1.1	売電中 (2021年3月売電開始)	39
	2			バイオガスを生成する食品リサイクル会社 (バイオガス発電所オペレーター)	-
	3	青森県上北郡東北町	0.03	売電中 (2018年11月売電開始)	39
風力発電		三重県	最大25.2	建設・企画	22

プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
植物工場		兵庫県丹波篠山市	年間生産量 約200t	操業中 (2019年3月操業開始)
高齢者向け施設	1	東京都江東区東雲	8階建複合施設 定員100名	建設・企画
	2	東京都港区南青山	5階建 定員61名	建設・企画
障がい者グループホーム	1	静岡県浜松市	入居者用20部屋、短期入所用2部屋	営業中 (2020年8月営業開始)
	2	栃木県宇都宮市	同上	営業準備中 (2021年9月営業開始予定)
	3	広島県広島市	同上	営業中 (2020年8月営業開始)
	4	埼玉県加須市	同上	建設・企画
商業ビル		愛知県	敷地面積 1,752m ² 、地下1階地上6階建	営業中 (既存ビルへの投資)
物流施設	1	埼玉県越谷市	延床面積 11,250m ² 、地上4階建	建設・企画
	2	神奈川県厚木市	延床面積 10,890m ² (予定)、地上2階建	建設・企画
	3	神奈川県海老名市	延床面積 18,808m ² 、地上2階建(予定)	建設・企画
	4	埼玉県狭山市	延床面積約 15,123m ² 、地上4階建	建設・企画

戦略投資先企業一覧



リニューアブル・ジャパン株式会社

メガソーラープロジェクトのパートナー企業

初回投資時期 : 2015年



スマートソーラー株式会社

メガソーラープロジェクトのパートナー企業

初回投資時期 : 2017年



ソーシャルインクルー株式会社

障がい者グループホームプロジェクトのパートナー企業

初回投資時期 : 2019年



株式会社森久エンジニアリング
株式会社モーベルファーム
(株)森久エンジニアリング子会社)

スマートアグリ(野菜)プロジェクトのパートナー企業

初回投資時期 : 2019年



MD-Farm株式会社

スマートアグリ(イチゴ)プロジェクトのパートナー企業

初回投資時期 : 2019年



KICホールディングス株式会社

ディストリビューションセンター(物流施設)投資のパートナー企業

初回投資時期 : 2020年

アジアネットワーク



【瀋陽】（ファンド出資者）

- ・瀋陽市渾南新区市政府（協力協定先）
- ・瀋陽高新技术産業開発区
- ・瀋陽万科企業有限公司

【天津】（ファンド出資者）

- ・天津エコシティ

【煙台】（提携先）

- ・煙台市政府（当社代表が新興産業国際顧問に就任）
- ・煙台市投資促進センター（協力協定先）

【青島・山東半島藍色経済区】（提携先）

- ・藍色経済区産業ファンド（戦略的提携先）
- ・青島市政府（当社が国際投資促進顧問に就任）

【青島】（協力先）

- ・中国青島（日本）商工センター

【成都】（提携先）

- ・成都高新技术産業開発区管理委員会（協力協定先）
- ・上海利陽文化科技発展有限公司（協力協定先）

【西安】（提携先）

- ・西安高新技术産業開発区（協力協定先）

【武漢】（提携先）

- ・武漢市商務局（協力協定先）

【蘇州】（100%子会社）

【瀋陽】（100%子会社）

【天津】（100%子会社）

【上海】（100%子会社）

【日本】（提携先）

- ・(株)アジアマーケット企画

【上海】（ファンドの共同運営）

- ・サイバーエージェント・キャピタル

【蘇州】（ファンド出資者）

- ・蘇州ベンチャーグループ

【香港】（株主・提携先）

- ・First Eastern Investment Group

【ハノイ・ホーチミン】

- ・Vietnam Maritime Commercial Joint Stock Bank（提携先）
- ・(株)ワールド・リンク・ジャパン（協力先）

【バンコク】（提携先）

- ・KT Zmico Securities Company Limited
- ・VNET Venture Capital Management Securities Co.,Ltd.

【シンガポール・マレーシア・インドネシア】 協力先

- ・BA Partners Pte.Ltd.（当社OB運営会社）
- ・Lingua Franca Holdings Pte.Ltd.（当社OB運営会社）

主要データの推移 ①



・ファンドの状況、投資の状況

(単位：百万円)	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/3(1Q)	22/3(1Q)
ファンド設立・増加額	500	1,000	2,000	1,359	151	151	1,001
ファンド運用残高 ※1	28,753	19,150	16,494	17,390	16,450	17,491	17,020
うち 当社グループ出資額 ※1	9,427	5,867	5,344	5,163	5,434	5,198	5,470
投資/融資実行額 総額 ※2	4,315	3,887	3,749	3,374	1,767	464	862
投資/融資残高 総額 ※2	16,558	13,981	13,951	15,101	12,855	15,512	13,522
投資/融資実行額 プロジェクト投資※2	3,184	2,681	3,612	2,150	1,445	184	142
投資/融資残高 プロジェクト投資※2	4,576	3,582	5,514	6,696	6,088	8,560	6,208
投資/融資実行額 プライベートエクイティ投資※2	1,131	1,205	136	1,224	322	280	720
投資/融資残高 プライベートエクイティ投資※2	11,981	10,398	8,437	8,405	6,767	6,951	7,313

※1 投資資産を保有した状態で清算期間に入るファンドが増加したため、2021年3月期より、清算期間中のファンドを含めています。

※2 当社グループによるプロジェクトに対する融資実行が増加したため、2021年3月期より、プロジェクトに対する融資（破産更生債権等を除く）を含めています。

主要データの推移 ②



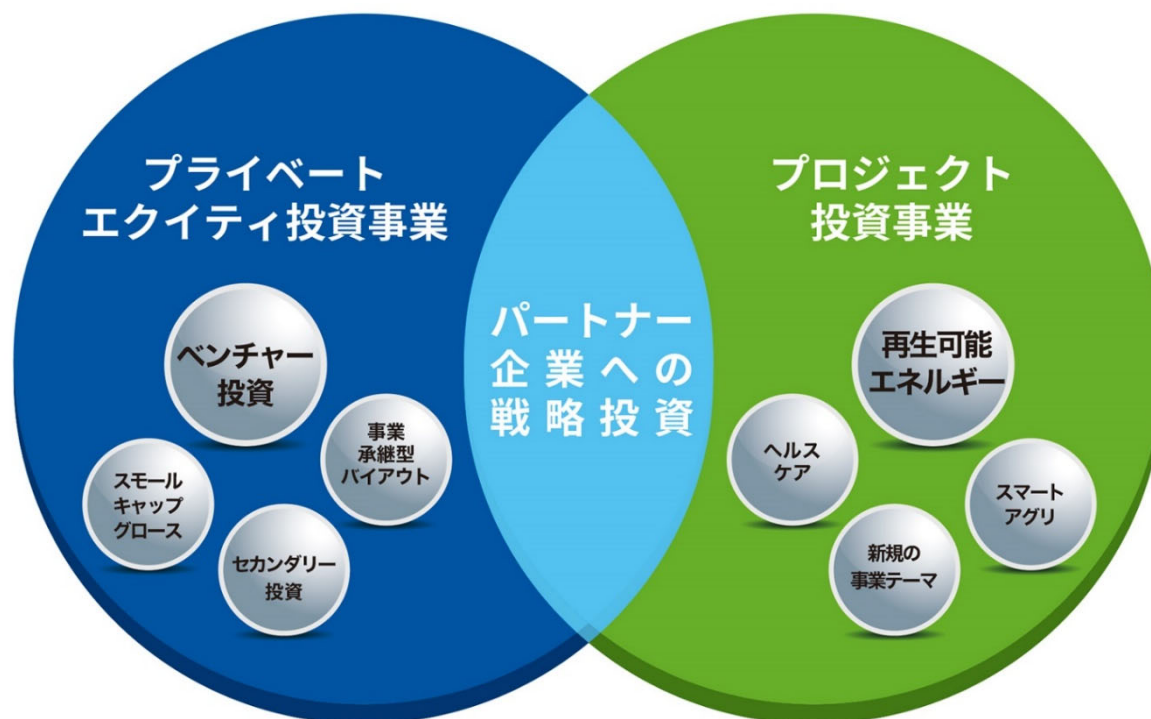
・業績、財務状況

(単位：百万円)	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/3(1Q)	22/3(1Q)
業績							
営業収益	3,926	5,403	2,475	2,760	3,089	282	168
営業総利益	2,176	2,328	1,286	1,359	1,301	11	3
販売費及び一般管理費	1,339	1,311	1,109	1,094	1,086	257	273
営業利益	836	1,017	177	265	214	△246	△270
経常利益	726	954	83	140	173	△246	△286
親会社株主に帰属する当期純利益	553	874	578	302	144	△241	△287
財務状況							
現預金	6,213	7,308	5,564	3,920	3,699	2,914	2,781
営業投資有価証券・貸付金（プロジェクト投資）	4,081	3,582	5,514	5,437	5,583	5,789	5,646
営業投資有価証券（戦略投資投資）	100	373	373	1,005	1,155	1,005	1,355
引当後 営業投資有価証券（フィナンシャル投資）	7,256	5,657	4,765	4,282	3,111	4,024	3,047
借入金	14,128	11,954	9,784	8,166	6,950	7,653	6,442
自己資本	5,686	6,545	6,840	7,223	7,338	6,928	6,998
総資産	20,305	19,220	17,305	15,800	14,657	14,877	13,900

営業収益・営業原価 内訳



(単位：百万円)		17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/3(1Q)	22/3(1Q)	増減率(%)
1.	投資事業組合等管理業務								
	管理運営報酬等	364	277	241	199	169	45	41	△9.7%
	成功報酬	101	86	-	-	-	-	-	-
	営業収益	466	364	241	199	169	45	41	△9.7%
	営業原価	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業総利益	466	364	241	199	169	45	41	△9.7%
2.	投資業務								
	営業投資有価証券売却高	2,275	3,219	1,746	2,349	2,221	73	104	43.3%
	組合持分利益・インカムゲイン等	1,159	1,677	429	172	648	150	9	△93.6%
	営業収益	3,434	4,897	2,176	2,521	2,870	223	114	△48.8%
	営業投資有価証券売却原価	1,423	2,469	554	965	1,249	19	88	361.5%
	営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	274	562	579	245	194	0	28	3637.0%
	組合持分損失等	46	36	49	184	336	249	46	△81.3%
	営業原価	1,744	3,069	1,182	1,395	1,780	269	163	△39.3%
	営業総利益	1,690	1,827	993	1,125	1,090	△45	△48	-
3.	その他								
	営業収益	25	142	57	40	49	12	12	3.1%
	営業原価	6	5	6	5	7	1	2	29.7%
	営業総利益	19	136	51	34	41	10	10	△1.2%
合計									
	連結営業収益	3,926	5,403	2,475	2,760	3,089	282	168	△40.1%
	連結営業原価	1,750	3,074	1,188	1,401	1,788	270	165	△38.9%
	連結営業総利益	2,176	2,328	1,286	1,359	1,301	11	3	△70.1%



プライベートエクイティ投資

成長性の高いベンチャー企業やスモールキャップ企業、事業承継問題を抱える中小・中堅企業に対し成長資金を投資します。投資後は、当社が日本とアジアに有するリソースを活用して、企業の成長戦略を支援します。

戦略投資

当社の注力する事業テーマに関連する企業に、戦略的な投資を行います。投資後は、当社が事業上のパートナーとなり、事業での協業を通じて、資金支援や営業支援を行います。

プロジェクト投資

メガソーラーを始めとする再生可能エネルギーや、介護施設などのヘルスケア、植物工場などのスマートアグリ、物流施設のディストリビューションセンタープロジェクトに投資をしています。プロジェクトファイナンスによる融資資金を活用して投資の採算性を追求します。

JAICの強み



投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握しています。

最先端の
業界情報収集力

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有しています。

ファイナンス
スキーム構築力

ベンチャー企業との
ネットワーク

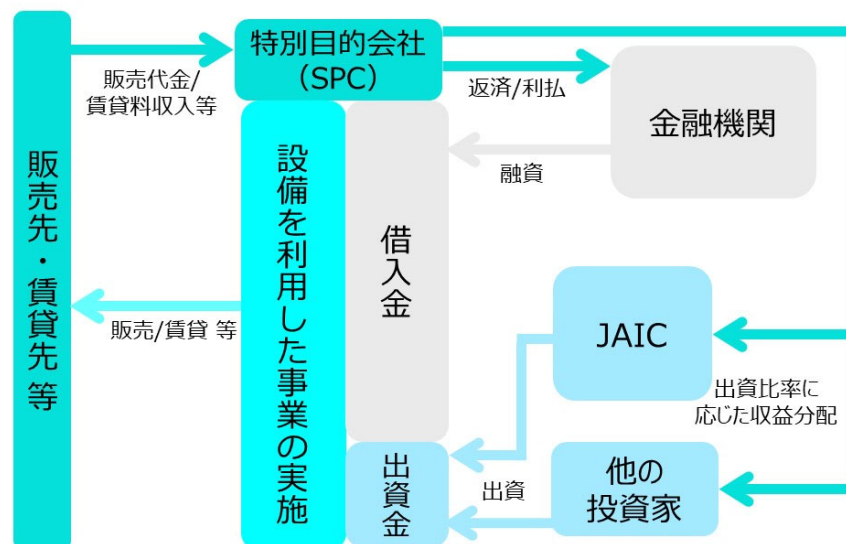
国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築しています。

そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用します。

国内外で3,300億円の累計投資実績を有しています。
プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築しています。

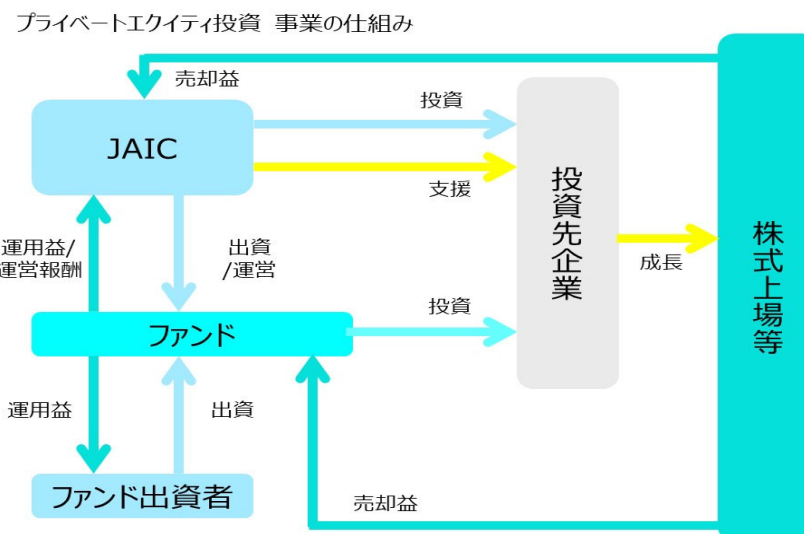
収益構造-プロジェクト投資

プロジェクト投資 事業の仕組み



- 発電所、工場、住居施設、倉庫といった設備を保有するSPC（特別目的会社）に対して投資を行い、これらの設備を建設し、完成後の設備の運営により生み出される利益から投資に対する分配を受けます。また、完成後に設備を売却して利益を得る場合もあります。
- 再生可能エネルギー、ヘルスケア（高齢者向け施設、障がい者グループホーム）、スマートアグリ（植物工場）、ディストリビューションセンター（物流施設）等のプロジェクトへ投資しています。
- プロジェクトの建設・運営にかかる資金の多くを金融機関からの負債性資金で調達することで、少額の投資資金で高い採算性を追及している点が特徴です。
- 加えて、多様な分野のプロジェクトに機動的に投資を行うために、プロジェクトの企画や開発に精通したベンチャー企業とパートナーシップを組んでいる点も特徴です。

収益構造 - プライベートエクイティ投資



- 日本を含むアジア地域におけるベンチャー企業や中堅・中小企業等を中心とした有望企業へ投資し、育成・支援を通じて投資先企業の企業価値を高め、株式の売却益を得ることを目的とした投資です。また、投資活動の過程で得る企業のニーズを基にM&Aの仲介業務も行います。
- プロジェクト投資のパートナー企業に対する「戦略投資」と、それ以外の「フィナンシャル投資」の2つの種類があります。
- 戦略投資を行った企業には、株主としての支援だけではなく、パートナーとして共にプロジェクトを運営し、その成長を支援します。
- フィナンシャル投資の特徴は、長年の経験により蓄積された上場支援に加え、広いネットワークを活用した海外展開支援や営業支援を行う点です。そのために、中国の政府系機関やアジア諸国のパートナー企業と業務提携などを行い、アジアのネットワークを構築しています。

SDGsへの取り組み



SDGs投資会社である事を当社のコアバリューとし、経営理念に基づきSDGsを強く意識した投資活動を徹底する

Environment

再生可能エネルギー

再生可能エネルギープロジェクトのパートナー企業に投資をするとともに、再生可能エネルギープロジェクトへの投資を通じて環境負荷の軽減に貢献します。



Social

スマートアグリ (植物工場)

植物工場プロジェクトへの投資を通じて、農業人口の減少や高齢化による諸問題や気候変動、食の安全に対するソリューションを提供します。



ディストリビューションセンター (物流施設)

物流施設プロジェクトへの投資を通じ、生産性の高い社会の実現や地域産業の活性化と雇用の創出に貢献します。



高齢者施設

障がい者グループホーム

ヘルスケアプロジェクト（介護施設、障がい者グループホーム）への投資を通じて、包摂的かつ安全でより住みやすい社会の実現に向けたソリューションを提供します。



プライベートイクイティ投資

投資先企業が行うイノベーションや既存事業の再活性化により、生産性向上や労働力の補完を促進します。また、中小企業の事業承継を支援するファンドの運営により、包摂的かつ持続可能な産業化を促進します。



Governance

経営体制

取締役7名中4名が独立社外取締役／独立社外取締役を取締役会議長として起用／任意設定機関「評価委員」により業務執行取締役の人事・報酬の評価を実施／取締役会の実効性の自己評価の実施と結果の開示／実効性のある監査等委員会監査や内部監査の実施

会社概要（2021年6月末現在）



会社名	日本アジア投資株式会社（略称）JAIC		
本社所在地	東京都千代田区九段北3丁目2番4号		
設立年月日	1981年7月10日		
資本金	5,426百万円		
株式上場市場	東京証券取引所 市場第一部（証券コード：8518）		
従業員数	単体18名／連結38名		
事業領域	プライベートエクイティ投資、プロジェクト投資		
役員	取締役会長（独立社外）	川俣 喜昭	： 取締役会議長
	代表取締役社長	下村 哲朗	
	取締役（常務執行役員）	八田 正史	
	取締役	大森 和徳	： 監査等委員長
	取締役（独立社外）	安川 均	： 監査等委員
	取締役（独立社外）	沼波 正	： 監査等委員
	取締役（独立社外）	片桐 春美	： 監査等委員

JAIC

日本アジア投資株式会社

<https://www.jaic-vc.co.jp>

I Rに関するお問合せ先：執行役員 岸本、管理グループ 丸山

I Rに関するお問合せアドレス：ir@jaic-vc.co.jp

（ご注意）本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結ベースにて表示しております。